

光・量子飛躍フラッグシッププログラム (Q-LEAP)
ステージゲート評価結果 (5年目)

1. 研究開発課題名

量子生命技術の創製と医学・生命科学の革新

2. 研究代表者名 (所属機関名・職名は評価時点)

量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所・所長
馬場 嘉信

1. ステージゲート評価結果 (5年目)

○結果

5年目ステージゲート通過とする

○評点

S:評価項目を満たしており、特に優れたところが認められる

○総合評価コメント

本 Flagship プロジェクトは量子生命技術を総合的に発展させることにより当該分野の世界的拠点形成を目指している。各グループはプログラムディレクターの実施方針を踏まえてグループ間が連携しながら研究を進捗させている。生体ナノ量子センサ、超高感度 MRI/NMR 開発においてそれぞれ設定された数値目標を達成見込みであり、研究代表者のリーダーシップのもと、研究開発、社会実装、拠点整備、人材育成と総合的に取り組みながら、期待通り・期待以上の成果を創出しており、Flagship としての役割を十分に果たしている。

企業との共同研究も進んでおり、社会実装に向けた協力体制も構築し、アウトリーチ活動に総合的に取り組んでいる点も高く評価する。

従来の生命科学を超える「量子生命科学」というコンセプトのもとに研究開発が進められていて、世界的に見ても、先進性、独創性が高い。一方で、量子生命プロジェクトの中心的な課題でもある、量子生命の本質に迫る新しい概念の創出に向けては、今後の基礎研究の進展を期待したい。

以上を踏まえて、本課題は継続するのが妥当と判断する。

以上